

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

次世代がん医療を担う 多職種人材養成プラン



東京歯科大学大学院
歯学研究科

令和5年度

事業報告書・がんプロ大学院募集要項

CONTENTS

ご挨拶 …… P2

養成コースの紹介 …… P3

口腔がん治療専門医養成コース …… P6

顎顔面補綴専門医養成コース …… P7

支持療法専門医養成コース

口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野 …… P8

今年度の業績 …… P9

おわりに …… P11

ご挨拶



一戸 達也

東京歯科大学
学長

東京歯科大学は令和5年度から東京医科歯科大学を主幹とするグループ(慶應義塾大学、国際医療福祉大学、順天堂大学、東海大学、東京薬科大学)が実施するプロジェクト「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」に参加します。全参加校の中で唯一歯科大学・歯学部からの参画です。本事業は「がん患者を誰一人取り残さない」ことを目標としており、本学におきましては歯科医学の視点からがん医療に貢献できる人材育成プランを実施することを目標に掲げました。

本学では3つのコースを設置し、臨床研修と高度がん研究の両立を目指す極めて特色ある大学院博士課程を準備しました。本学の特徴の一つとして、千葉県市川市に教育機関も兼ね備えた総合病院もっていることが挙げられます。チーム医療、多職種連携の歯科医学教育には実績があります。また令和6年度から国立がん研究センターにおけるがん研修の臨床研修プログラムも用意しました。これらの研修を通じて次世代の歯科医師の輩出に貢献できればと考えます。

口腔がんは直視できる部位に発生することから歯科医師による早期発見が極めて重要な疾患であります。また一方で、がん患者の治療前後の周術期口腔機能管理、術直後の口腔衛生管理による合併症の予防、退院後の様々ながん患者に対する食支援は歯科界の重要なテーマとなっています。本事業を通じて国民の健康増進に寄与するべく、是非関係各位のご支援をいただければ幸いです。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。



齋藤 淳

東京歯科大学
大学院歯学研究科研究科長
事業総括(事業責任者)

本学の大学院歯学研究科に「がんプロフェッショナル養成プラン(通称がんプロ)」のコースが設置されたのは平成20年からになります。この間、口腔がんやがん支持療法に関する多数の研究論文が発表され、がん医療の分野で活躍する歯科分野のスペシャリストが養成されてきました。

令和5年度より第4期のがんプロ事業が始まり、東京医科歯科大学を主幹校とする7大学連携事業に参画することとなりました。これからの活動を大変楽しみにしています。超高齢社会に突入し、我が国の医療の枠組みが大きく変化してきました。2人に1人ががんに罹患する時代に、このがんプロ事業が国民の健康増進の一助になるのは間違いありません。歯科の単科大学で唯一この事業に参画できたことは大変有意義なことであると考えています。

本学大学院の歴史は古く、基礎と臨床を通じて歯科医学の発展に貢献してまいりました。細菌学や衛生学、保存学、補綴学、そして口腔外科学など様々な分野で多くの実績を残し、国民の口腔健康増進を担うスペシャリストを輩出してきました。本学大学院のアドミッションポリシーで求める学生像として、「既成の価値観にとらわれず、自ら問題を発見し、解決しようとする力を備えている人材」があります。多職種連携の中で、がん医療を通じた口腔健康増進に主導的な役割をはたす歯科医師の養成は重要課題であり、がんプロ大学院生が一人でも多く入学することを心より祈念してご挨拶にかえたいと思います。

養成コースの紹介

がん対策推進基本計画では「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことを目標とし、基盤整備の一つとして「人材育成の強化」を推進しています。次世代のがんプロフェッショナル養成プランは、がん専門医療人材を養成する拠点を、大学間連携により形成することを目的としています。

次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン

(申請校：東京医科歯科大学)

首都圏7大学の連携

慶應義塾大学

順天堂大学

東京医科歯科大学

東京歯科大学

東京薬科大学

東海大学医学部

国際医療福祉大学



本事業の特色

**がん患者を
誰一人取り残さない!**

- 14のワーキンググループ(WG)
- 多くの連携校共通コース
- 多職種連携の指導
- データサイエンスの教育
- 患者団体との密な連携

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン(令和5～10年度)

背景

- 「がん対策推進基本計画」等
- 医療現場で顕在化した課題への対応
- がん予防の推進
- 新たな治療法の開発

主な取組

- 痛みの治療・ケア、がん学際領域等を担う人材の養成
- 医療ビッグデータに基づくがんの予防医療を担う人材の養成
- 個別化医療・創薬研究を担う人材の養成

自己完結型の診療スタイルから脱却し、
多職種による共通の目的意識を持った歯科医師の育成が求められる

在宅医療、介護、福祉サービス、医療費、病院機能の分化……

地域医療において多職種が集まり、医療体系の見直しをしている中、
包括医療の中に歯科医療を今後どう組み込むかが課題

超高齢社会における理想的な歯科医師像

- 地域のチーム医療の中で、歯科医師として提供できる医療知識
- 医療技術をまわりに伝え、連携を図ることができる

歯科医師の育成

令和6年度より開講 **がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース**

■ 口腔がん治療専門医養成コース(正規課程・修業年限4年)

| | |
|--------------|--|
| 養成すべき 人材像 | 口腔外科の特性を生かしながら ①高度口腔がん診療を実践できる人材、②頭頸部外科との連携協力体制を構築できる人材、③口腔がん早期発見の普及に貢献できる人材、④口腔がん患者に対する療養生活の質の向上に向けた取り組みを実践できる人材を養成する。 |
|--------------|--|

■ 顎顔面補綴専門医養成コース(正規課程・修業年限4年)

| | |
|--------------|---|
| 養成すべき 人材像 | 口腔がん・頭頸部がんの治療によって生じる形態・機能障害に対して歯科的技能を応用した高度な顎顔面補綴治療やエビテーゼ治療によって審美と機能の回復を図ることのできるスペシャリストを養成する。 |
|--------------|---|

■ 支持療法専門医養成コース/

口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野(正規課程・修業年限4年)

| | |
|--------------|--|
| 養成すべき 人材像 | がん治療の支持療法として必要な ①口腔機能・口腔衛生管理がおこなえる人材、②摂食・嚥下リハビリテーションや栄養学の知識を涵養し、栄養サポートチームへ参画できる人材、そして、 ③地域包括ケアシステムの中で終末期医療を含めたがん緩和の分野で連携しリーダーシップをとれる人材を養成する。 |
|--------------|--|

東京歯科大学の実施体制、担当者一覧

| 氏名 | 所属(研究科・専攻等)・職名 | 事業における役割 |
|-------|-----------------------|----------------------------------|
| 齋藤 淳 | 大学院歯学研究科長・教授 | 事業総括(事業責任者) |
| 片倉 朗 | 副学長 | 事業推進アドバイザー |
| 澁川 義幸 | 大学院歯学研究科教務部長・教授 | 教育カリキュラム開発・編成担当(総括) |
| 福田 謙一 | 大学院歯学研究科学生部長・教授 | 研修カリキュラム開発・編成担当(総括) |
| 野村 武史 | 口腔がんセンター・センター長 | 事業推進プロジェクトリーダー コーディネーター担当(総括) |
| 鈴木 大貴 | 口腔がんセンター・助教 | 口腔がん治療専門医コース担当者 |
| 中島 純子 | オーラルメディスン・病院歯科学講座・准教授 | 顎顔面補綴専門医養成コース担当者 |
| 酒井 克彦 | オーラルメディスン・病院歯科学講座・講師 | 支持療法専門医養成コース担当者 |
| 堂地 一利 | 口腔科学研究センター・事務主任 | がんプロ事務担当 |
| 世木田 晋 | 口腔科学研究センター・事務主任 | がんプロ事務担当 |

各コースの担当講座一覧

■ 口腔がん治療専門医養成コース(正規課程・修業年限4年)

担当講座

- ①口腔顎顔面外科学講座 ②口腔病態外科学講座 ③口腔腫瘍外科学講座

■ 顎顔面補綴専門医養成コース(正規課程・修業年限4年)

担当講座

- ①口腔顎顔面外科学講座 ②口腔病態外科学講座
 ③老年歯科補綴学講座 ④クラウンブリッジ補綴学講座
 ⑤口腔健康科学講座(摂食嚥下) ⑥口腔インプラント学講座
 ⑦口腔腫瘍外科学講座 ⑧オーラルメディスン・病院歯科学講座

■ 支持療法専門医養成コース/

口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野(正規課程・修業年限4年)

担当講座

- ①口腔顎顔面外科学講座 ②口腔病態外科学講座
 ③老年歯科補綴学講座 ④クラウンブリッジ補綴学講座
 ⑤口腔健康科学講座(摂食嚥下) ⑥口腔インプラント学講座
 ⑦口腔腫瘍外科学講座 ⑧オーラルメディスン・病院歯科学講座

大学院修了の履修要件

■ 大学院共通科目

・必修科目(主科目)

主科目(講義等)、大学院共通講義 I (歯科専門分野)、大学院セミナー

・選択科目

主科目以外の科目講義等、大学院セミナー

※主科目、選択科目をあわせて必修科目30単位以上を履修し、独創的研究に基づく学位論文を提出し、最終試験に合格すること。

■ がんプロ履修要件

・研修コース

東京歯科大学口腔がんセンターおよび市川総合病院医科研修(2年)

・国内留学

国立がん研究センター中央病院 ※3コース共通

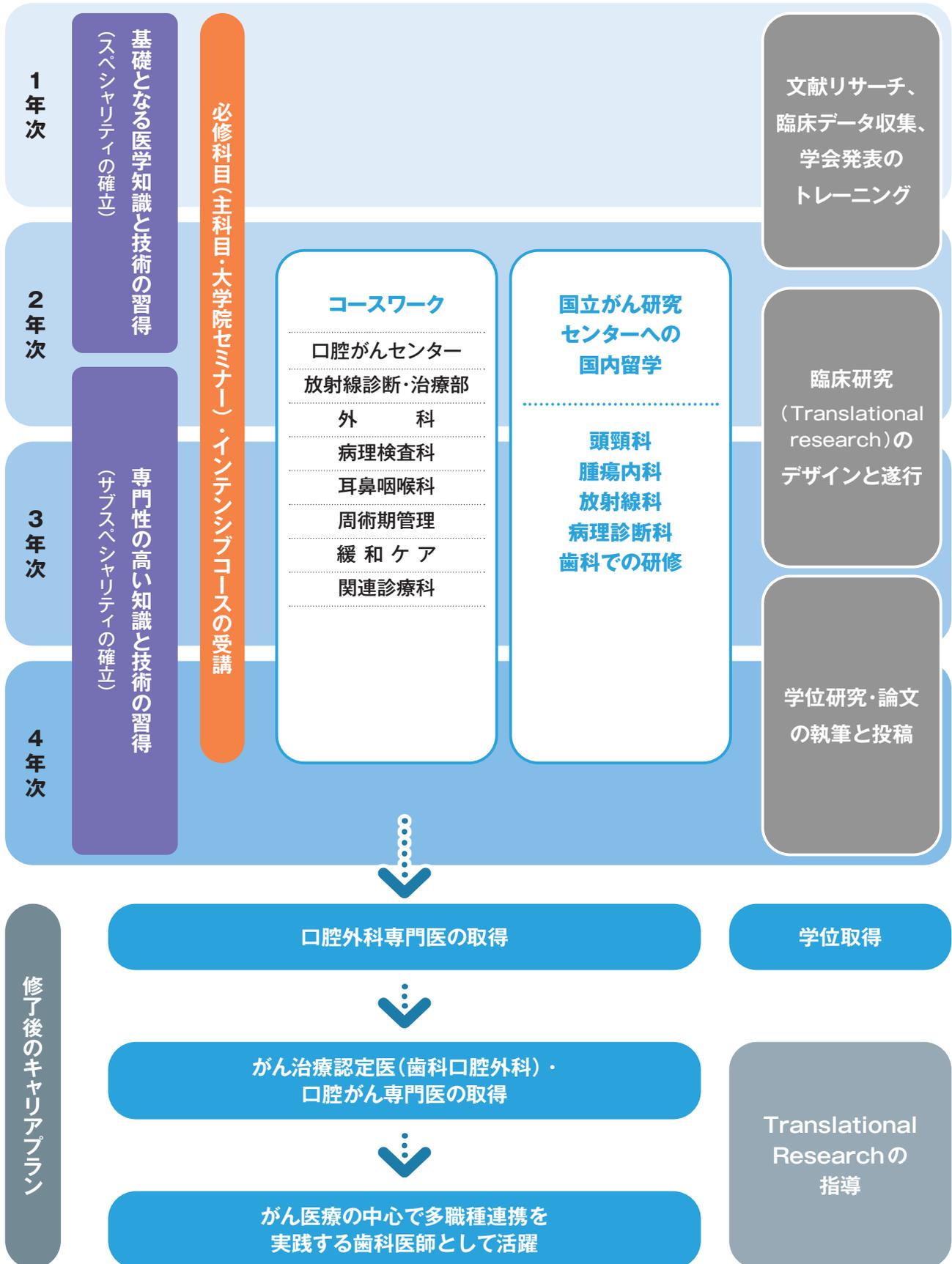
・連携大学共通インテンシブコース「口腔がん・がん口腔支持療法分野プログラム」の修了

・連携校セミナー、WS、シンポジウムへなどの参加:多職種横断テーマ(連携大学共通)

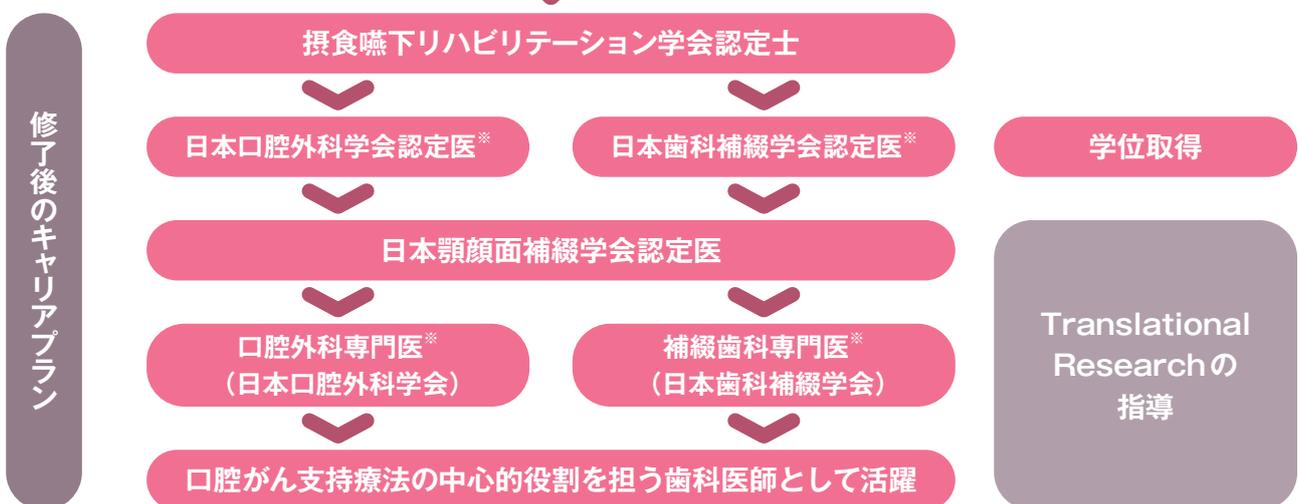
・ポートフォリオの提出:評価シート、担当症例報告、関連セミナーへの参加証明

・原著論文1編 または 臨床研究論文3編(筆頭著者1編を含む)

口腔がん治療専門医養成コース



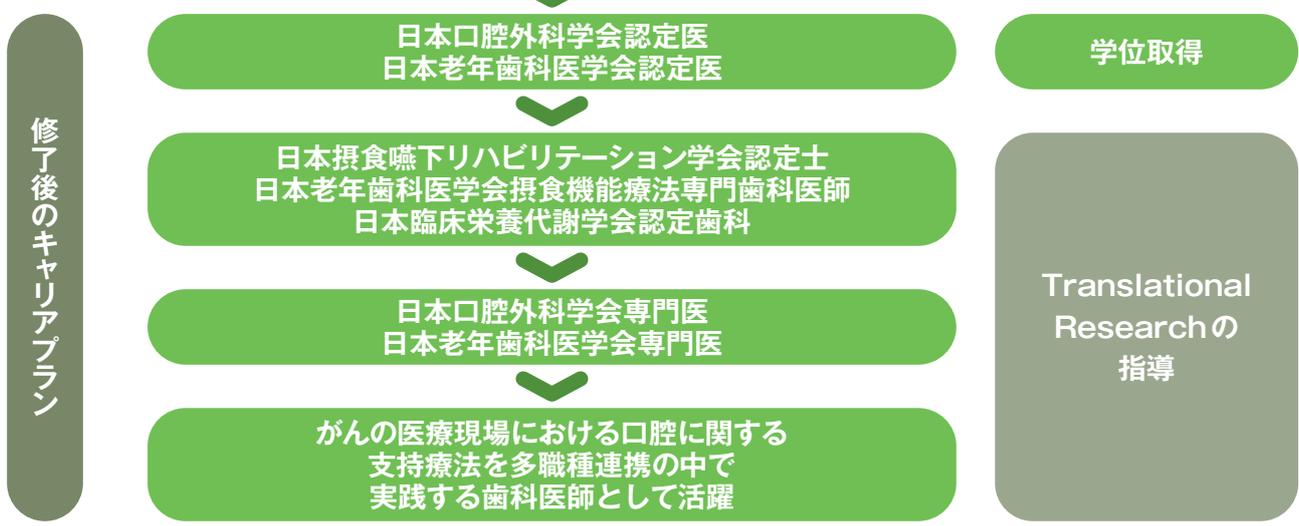
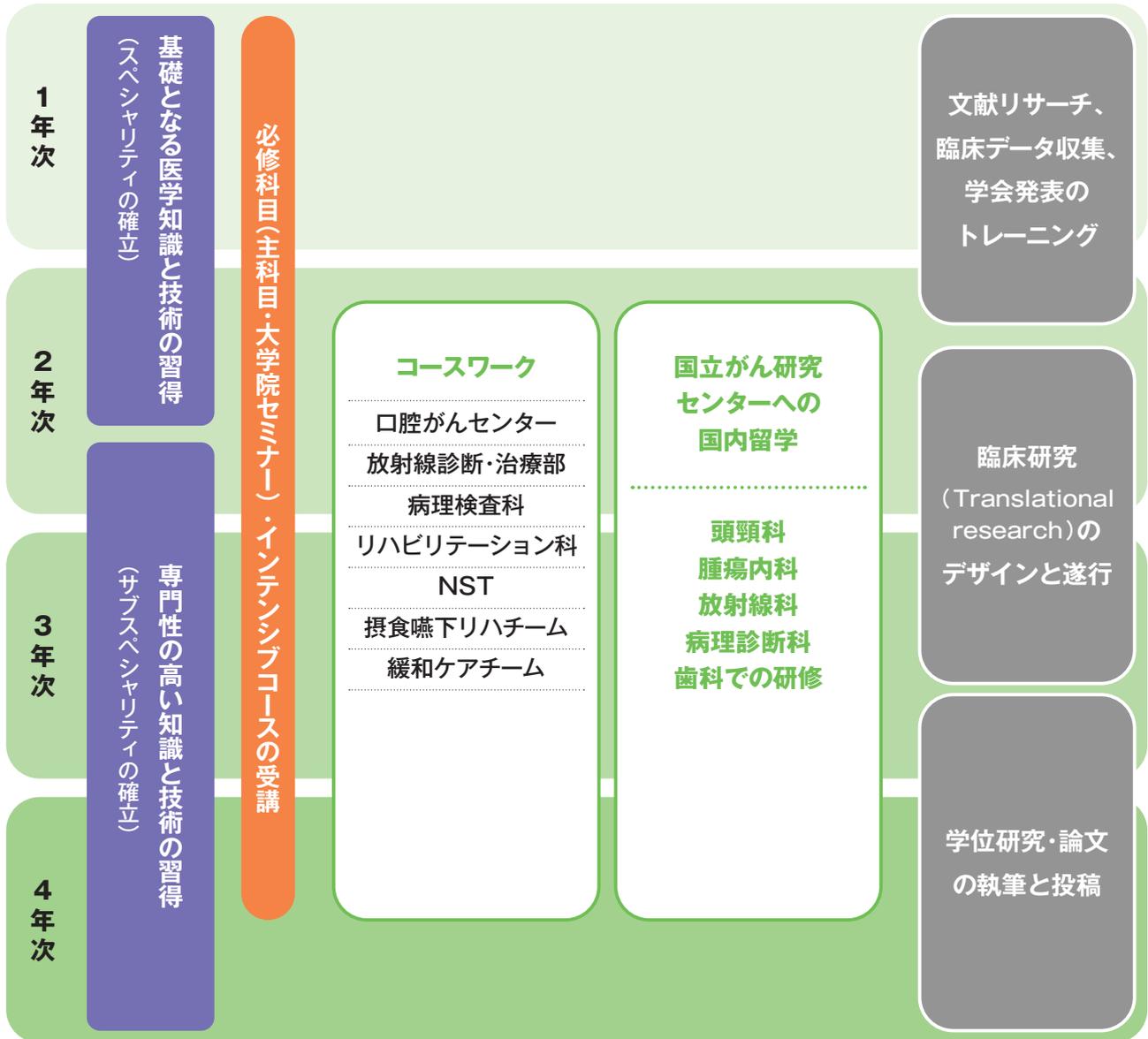
顎顔面補綴専門医養成コース



※所属する講座により取得可能な資格は異なります。

支持療法専門医養成コース

口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野



今年度の
業績

①

口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コースの設置

口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コース 一連携大学共通インテンシブコース(令和6年4月に開校)ー

歯科医学の基本に対する多職種の共通理解をもとに、相互の連携を意識し、症例検討会も含め、総合的に学修できる構成となっている。がん医療の分野に携わる、多職種を対象とした歯科医学の教育カリキュラムを導入した点が本プログラムの特色である。

対象職種▶ 歯科医師、歯科衛生士、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語療法士など

修業年限▶ 1年

養成すべき人材像▶ ①口腔がんをはじめとする口腔疾患の病態と治療を理解し、多職種と連携して適切な医療を提供できる人材

②がん治療に対する口腔の有害事象・合併症の病態等の知識を有し、多職種と連携して、適切ながん口腔支持療法を提供できる人材

指導体制▶ 連携7大学の医師、歯科医師、歯科衛生士が中心となり、学内外の各分野の専門家による講義・実習(Webコンテンツによる学修と対面型多職種ワークショップを開催)

受け入れ開始時期▶ 令和6年4月より

連携大学共通インテンシブコース 口腔がん・がん口腔支持療法分野WG

| 大 学 | 氏 名 | 所 属 |
|----------|--------|-----------------------|
| 東京医科歯科大学 | 樺沢 勇司 | 健康支援口腔保健衛生学分野 教授 |
| 東京医科歯科大学 | 三浦 雅彦 | 歯科放射線診断・治療学分野 教授 |
| 東京医科歯科大学 | 森 毅彦 | 血液内科学分野 教授 |
| 東海大学 | 太田 嘉英 | 口腔外科学 教授 |
| 東京歯科大学 | 野村 武史 | 口腔腫瘍外科学講座・口腔がんセンター 教授 |
| 順天堂大学 | 篠原 光代 | 歯科口腔外科 先任准教授 |
| 国際医療福祉大学 | 佐藤 一道 | 歯科口腔外科 准教授 |
| 慶應義塾大学 | 筋生田 整治 | 歯科・口腔外科学 専任講師 |

口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コースプログラム

●口腔がん・がん口腔支持療法総論

- 第1回 がんを理解する上での基礎知識
- 第2回 口腔がんについて、全身疾患等から生じる様々な口腔内症状
- 第3回 う蝕、歯周病と歯科治療～周術期口腔健康管理の理解のために

●口腔マネジメント各論

- 第4回 口腔がんの治療法
- 第5回 がん患者の周術期口腔健康管理とその実際
- 第6回 嚥下リハビリテーションの手技と理解
- 第7回 栄養療法の基礎と口腔管理
- 第8回 口腔がん術後患者の生活の質向上にむけた取り組み
- 第9回 緩和ケア・終末期患者に対する歯科的介入
- 第10回 症例検討会・まとめ

今年度の業績

②

歯科医学教育セミナーの開催

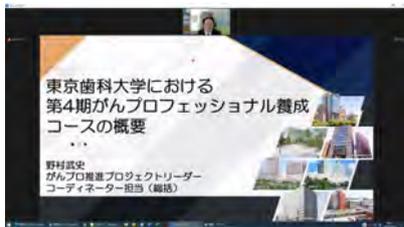
第211回歯科医学教育セミナー

日時 令和6年2月28日(水) 18:00～19:00

演題 文部科学省事業「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」

- 演者
1. 「東京医科歯科大学「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」の概要
森毅彦 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科血液内科学 教授
臨床腫瘍学分野・教授、事業推進プロジェクトリーダー
 2. 東京歯科大学における第4期がんプロフェッショナル養成コースの開設
野村武史 口腔腫瘍外科学講座/口腔がんセンター・教授
本学コーディネーター
 3. 国立がん研究センターでの頭頸部・口腔癌への取り組み、大学院生の当院での研修コースワーク
森 泰昌 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 病理診断科医長

共催 大学院歯学研究科FDセミナー



今年度の業績

③

7大学連携キックオフシンポジウムの開催

7大学連携キックオフシンポジウム

日時 令和6年3月3日(日) 14時00分～16時00分

会場 ステーションカンファレンス東京 6階605ABC

対象者 医療従事者・がん診療に携わる方

企画内容

前半 【各大学のがんプロコースの紹介】

- 座長 太田嘉英(東海大学) 野村武史(東京歯科大学)
- 演者
- 1) 樺沢勇司(東京医科歯科大学)
 - 2) 三浦雅彦(東京医科歯科大学)
 - 3) 筋生田整治(慶應義塾大学)
 - 4) 篠原光代(順天堂大学)
 - 5) 佐藤一道(国際医療福祉大学)

後半 【意見交換会およびフリーディスカッション】

開催形態 現地・Webハイブリット開催
本件問合せ先 学校法人東京歯科大学大学院事務室



次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン
「口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コース」開講記念
7大学連携キックオフシンポジウム
参加型 特別企画
参加費 無料!!

前半 コーディネーターによるがんプロコース開講の発表
後半 フリートークディスカッション

どなたでも参加自由、発言自由です!
みんなで「がん医療と歯科との関わり」について語りつくしましょう! Webでの発言も大歓迎!

コーディネーター
東京医科歯科大学 健康支援口腔保健衛生学分野 樺沢勇司
東京医科歯科大学 歯科放射線診断・治療学分野 三浦雅彦
東海大学 口腔外科 太田嘉英
慶應義塾大学 歯科・口腔外科 筋生田整治
順天堂大学 歯科口腔外科 篠原光代
国際医療福祉大学 歯科口腔外科 佐藤一道
東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座/口腔がんセンター 野村武史

お申し込みはコチラから

2024年3月3日(日) 14:00～16:00
開催地 ステーションカンファレンス東京 6階605ABC
現地集合+ハイブリット開催 (全国から参加可能です)

本企画の開催に賛同する関係機関のみなさまへのご挨拶はこちら。
<https://www.tmd.ac.jp/mv/digital/2nd-edition/>

連絡先 東京歯科大学大学院事務室(事務局) 所在地 〒100-0001 東京都千代田区麹町1-18 東京歯科大学口腔腫瘍研究センター 03-6260-0714 kankyo@tdk.ac.jp

終わりに



がんプロコースに興味のあるかたへ。
多くの方のご参加をお待ちしています。

野村 武史

東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座・教授/
東京歯科大学口腔がんセンター・センター長
コーディネーター担当(総括)

本学のがんプロフェッショナル養成事業は、平成20年より開始し、現在も多くの大学院生が在籍しています。令和6年度から、新たに「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」事業に本学が参画することとなりました。この事業における本学の役割は、がん医療の現場で口腔の健康推進に主導的な役割を果たすことのできる人材の育成です。

本学が設置した大学院がんプロ養成コースは、①口腔がん治療に特化した「口腔がん治療専門医養成コース」、②口腔領域の機能回復を専門とする「顎顔面補綴専門医養成コース」、③がん患者の食支援、栄養管理を実践できる「支持療法専門医養成コース/口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野」の3つです。この3つのすべてのコースは、本学が所有する市川総合病院に加え、国立がん研究センターでの臨床研修に参加できます。医科研修を通じて、多職種で活躍できる歯科医師の養成を目指します。興味のある方は、是非、東京歯科大学大学院歯学研究科にお問い合わせください。

本学は東京医科歯科大学を主幹とする7大学と連携し、共通インテンシブコースを立ち上げました。また、今後は様々なテーマのシンポジウム、ワークショップ、セミナーを企画し、多くの専門職種とお互いに意見交換ができる場を提供します。是非本学の大学院博士課程への入学を心よりお待ちしております。がん診療にこれから携わろうと考えている歯科医師の皆さん、より良いがん医療の発展のために共に学びあいましょう。





東京歯科大学大学院歯学研究科
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン
令和5年度 事業報告書・大学院募集要項

発行日 令和6年3月31日
編集 東京歯科大学大学院歯学研究科
101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-9-18
制作・印刷 株式会社さいころ・プレス